

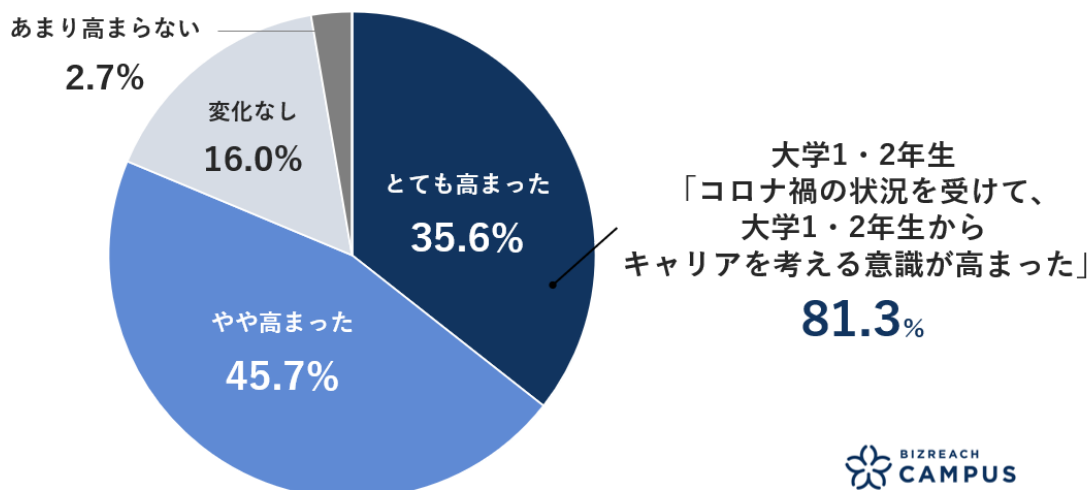
2022年3月8日  
株式会社ビズリーチ

## 大学1・2年生の9割「低学年からのキャリア支援」を大学に希望 コロナ禍で思い描いた大学生活を送れず、8割が「キャリアへの意識高まる」

Visionalグループの株式会社ビズリーチ（所在地：東京都渋谷区/代表取締役社長：多田洋祐）が運営する、OB/OG訪問ネットワークサービス「ビズリーチ・キャンパス」は、同サイトに登録する大学1・2年生を対象に、所属大学のキャリア支援に関する調査を実施しました（調査期間：2022年1月25日～2月1日、有効回答数：188）※。

その結果、6割以上が「コロナ禍の状況下で、思い描いていた大学生活を送れていない」と回答しており、大学への通学頻度に関する質問では「週1回以下」が約半数となっています。また、8割以上がコロナ禍の状況を受けて、「大学1・2年生から将来のキャリアを考えようという意識が高まった」と答え、9割以上が「所属大学に、大学1・2年生向けのキャリア支援をさらに強化してほしい」と回答しました。オフラインでのコミュニケーションが不足する状況において、将来のために多様な価値観に触れる機会を求めていることがうかがえます。

Q. コロナ禍の状況を受けて、  
大学1・2年生から将来のキャリアを考えようという意識は高まりましたか？（n=188）

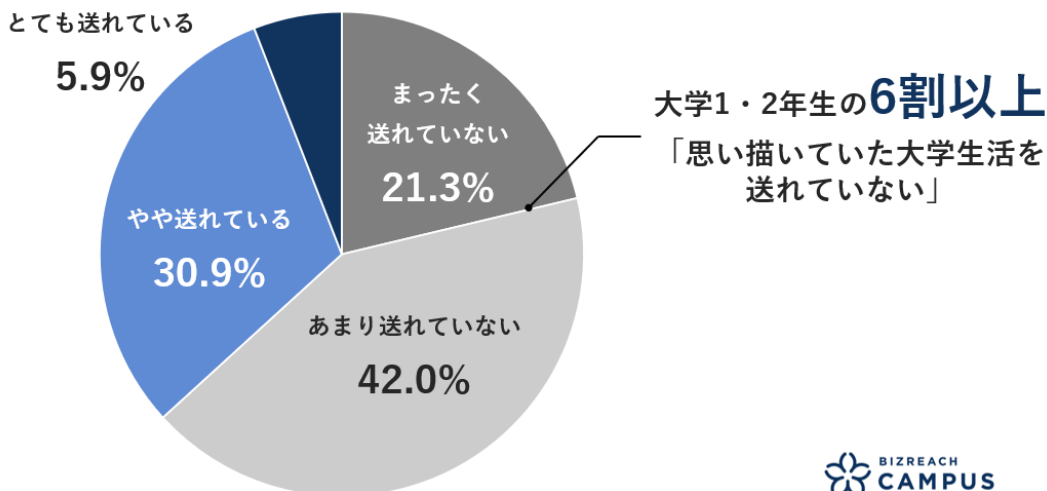


### ■大学1・2年生の6割以上が「コロナ禍で思い描いていた大学生活を送れていない」と回答

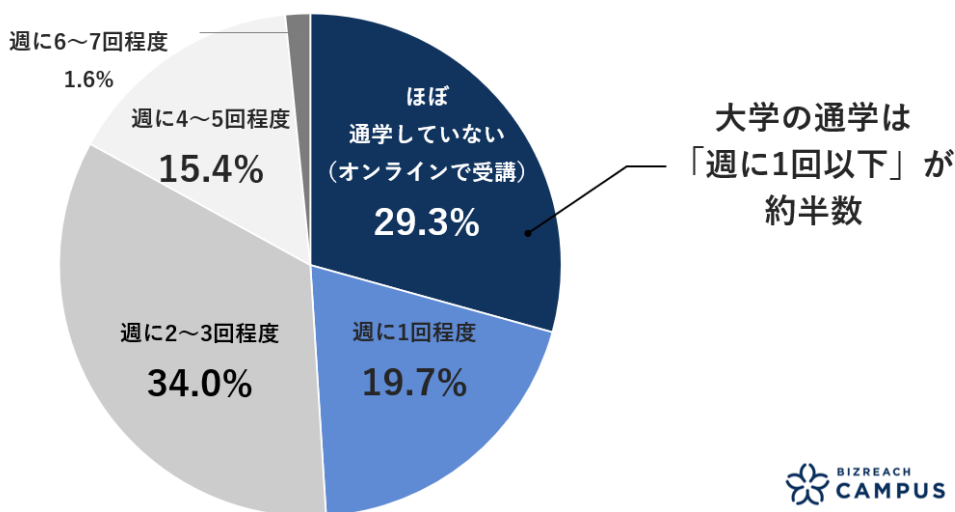
#### 8割以上が、コロナ禍を受けて、大学1・2年生から将来のキャリアを考える意識「高まった」

6割以上が「コロナ禍の状況下で、思い描いていた大学生活を送れていない」と回答しており、大学への通学状況は「週1回以下」が約半数となっています。さらに、この状況を受けて、8割以上が「大学1・2年生から将来のキャリアを考えようという意識は高まった」と回答しており、その理由として、「コロナでさまざまな業界が影響を受けるなか、将来を考えようという意識が高まった」「対面の交流がないため内省する時間が増えた」などの声が挙がりました。

Q. コロナ禍の状況下で、思い描いていた大学生活を送れていますか？ (n=188)



Q. あなたは現在、大学にどれくらいの頻度で通学していますか？ (n=188)



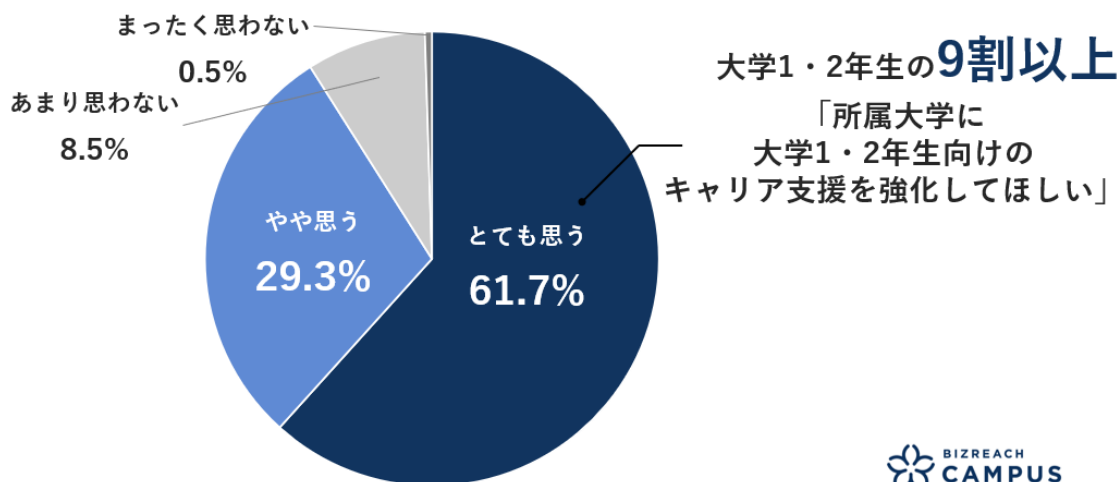
大学1・2年生から将来のキャリアを考えようという意識が高まった理由（自由回答）

- ・ 将来の不安が大きくなったため、早めに行動しておきたいと思った。コロナの状況で上級生の話を聞く機会も少ないため、今のうちから行動しておこうという考えを持つようになった。
- ・ 場所や社会状況に左右されない働き方をすべきだと感じたから。
- ・ コロナで自由な時間が増え、さまざまなイベントに参加したことでいろいろ取り組んでいる人がいると知って自分も将来に向けて何かしようと思ったから。
- ・ これまでは漠然と大学に入ったらやりたいことが見つかると思っていたが、コロナ禍によってこれは難しいと感じた。そのため、将来のキャリアをより考えるようになった。

### ■9割以上が「所属大学に大学1・2年生のキャリア支援をさらに強化してほしい」

さらに、9割以上が「所属大学に大学1・2年生向けのキャリア支援をさらに強化してほしい」と回答しました。具体的な希望のなかには、「学生時代の活動を、社会のなかでどのように活用できるか知りたい」「自分なりのキャリアを歩むためのサポートをしてほしい」などの意見が挙がり、大学に大学生活と将来を関連づけて考えられるような支援を求めていることがうかがえます。

Q. 所属大学に、大学1・2年生向けのキャリア支援を、さらに強化してほしいですか？ (n=188)



将来のキャリアを考えるにあたり、大学にサポートしてほしいこと（自由回答）

- ・ どうすれば自分なりのキャリアを歩めるか、どんな関わりを持てば良いかを知るためのサポート。
- ・ 有名な企業でも知らないことがあるため、まずどのような会社があるのかということから詳しくくなり、より多くの職種を知る機会が欲しいです。
- ・ もっと1・2年を対象のセミナーなどを開いてほしい。3・4年になって焦る人がいるのは1・2年の時にそういう情報と触れてこなかったという可能性もあると思います。
- ・ 大学のOB/OGの講演会などを開いて、同じ大学の先輩の活躍、キャリア形成のコツなどを教えてほしいです。

※：ビズリーチ・キャンパス「所属大学のキャリア支援に関するアンケート」

対象：ビズリーチ・キャンパスに登録する、大学1年生・2年生

調査期間：2022年1月25日～2月1日 有効回答数：188

各比率において、項目によっては端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

本調査を引用される際には、「ビズリーチ・キャンパス調べ」と必ずご記載ください。

### 株式会社ビズリーチ 執行役員 新卒事業部 事業部長 小出 毅 コメント

今回、大学1・2年生の9割以上が「所属大学に大学1・2年生向けのキャリア支援をさらに強化してほしい」と回答しており、コロナ禍の影響でリアルな交流が減少したことなどから、将来のキャリアを考える意識が高まっていることがうかがえます。ビズリーチ・キャンパスでは、立教大学で初となる、[大学1・2年生限定のキャリア支援講座（「卒業生から学ぶ！キャリアインタビュー」）](#)を昨年12月に実施し、幅広い業種や職種のロールモデルを提示する取り組みを支援いたしました。



今後もビズリーチ・キャンパスでは、低学年からのキャリア形成支援を強化し、学生の皆様が期待と覚悟を持ってファーストキャリアを選択できるよう支援してまいります。

### ■OB/OG訪問ネットワークサービス「ビズリーチ・キャンパス」について

「ビズリーチ・キャンパス」は、学生とその学生が所属する大学・大学院のOB/OGや企業をつなぐオンラインのキャリア教育プラットフォームです。登録した学生は就職活動時期や学年などに関係なく、さまざまな業界で活躍する社会人から話を聞き、早期に就業観を醸成することが可能となります。学生は登録後、母校専用サイトのOB/OGのなかから、自分のバックグラウンドに似た先輩や、興味がある企業に在籍している先輩を見つけ、「話を聞きたい」ボタンを押してアプローチでき、OB/OGが承諾した場合にOB/OG訪問できます（オンラインでのOB/OG訪問も可能）。

なお、「ビズリーチ・キャンパス」はOB/OG訪問の依頼やビデオ通話の発信を学生に限定しています。また、安心してご利用いただけるよう、学生とOB/OGに許諾をとったうえで、ビズリーチ・キャンパス運営事務局が、サービス内のメッセージ等を24時間有人監視しています。

URL : <https://br-campus.jp/>

配信地域	日本、アメリカ、カナダ
開校大学	国内44大学と海外留学生向けの専用サイトを開設（2022年2月末時点）
登録者数	大学生・大学院生 115,000名以上（2022年2月末時点） OB/OG 56,000名以上（2022年2月末時点）
公開日	2016年10月12日
利用料金	無料 ※法人契約の場合は、サービス利用料が発生します

### ■株式会社ビズリーチについて

「すべての人が『自分の可能性』を信じられる社会をつくる」をミッションとし、2009年4月より、働き方の未来を支えるさまざまなインターネットサービスを運営。東京本社のほか、大阪、名古屋、福岡、静岡、広島に拠点を持つ。即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」、人財活用プラットフォーム「HRMOS（ハーモス）」シリーズ、挑戦する20代の転職サイト「キャリトレ」、OB/OG訪問ネットワークサービス「ビズリーチ・キャンパス」を展開。2020年2月、グループ経営体制への移行にともなって誕生したVisionalグループにおいて、主にHR TechのプラットフォームやSaaS事業を担う。

URL : <https://www.bizreach.co.jp/>

### ■Visionalについて

「新しい可能性を、次々と。」をグループミッションとし、HR Tech領域を中心に、産業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するさまざまな事業を展開。「ビズリーチ」をはじめとした採用プラットフォームや、人財活用プラットフォーム「HRMOS」シリーズを中心に、企業の人材活用・人材戦略（HCM）エコシステムの構築を目指す。また、事業承継M&A、物流Tech、サイバーセキュリティ、Sales Techの領域においても、新規事業を次々に立ち上げている。

URL : <https://www.visional.inc/ja/index.html>